

令和 7 年度

運営に関する計画

大阪市立波除小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立波除小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」 ① 小学校学力経年調査における「学校へ行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上 にする。(R6 88.7%) ② 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(R6 46.1%) ③ 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%以上 にする。(R6 88.7%) ④ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上 にする。(R6 85.2%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 ・いじめの認知について、文部科学省から示された捉え方を教職員間で共有し、実態の正確な把握に努める。 ・いじめアンケートを毎学期行い、いじめの早期発見を図り、解消に向けて組織的に取り組む。	
指標① 学校アンケート「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。R6:87.2%) A…89%以上 B…80%～88% C…80%未満	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 ・自他を尊重し、誰もが安心して過ごすことができる学級経営、学年集団づくりの取り組みを推進する。 ・不登校対策委員会を学期に1回開き、不登校児童の実態について共通理解を図り、対策を組織的に協議して支援体制を強化する。	
指標① 不登校対策委員会や研修会を開く。 A…4回以上 B…3回 C…2回	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】 ・看護当番が一週間の児童の様子を把握し職員間で共通理解を図り、児童朝会で児童に伝え、学校のきまりを守ろうとする意識をもたせる。	
指標① 学校アンケートの「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上 にする。(R6 88%) A…88%以上 B…85%以上 C…80%以下	
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・特別の教科「道徳」の指導要領における内容項目(A)主として自分自身に関することの「個性の伸長」をねらいとする授業や取り組みを定期的に行う。指導にあたっては、児童の長所を積極的に認め、励まし、自尊感情を高めるようにする。 ・各学級・異学年交流の「いいところみつけ」を実施し、自己肯定感の育成と向上につなげるようにする。	
指標① 学校アンケート「自分にはよいところがありますか」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。 A…86%以上 B…85%～80% C…80%未満	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の充実】
 取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の充実】
 取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の充実】
 取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の充実】
 取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の充実】
 取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の充実】
 取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

大阪市立波除小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」 ① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。(R6 47%) ② 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R6 68.7%) 「学校独自の目標」 ③ 小学校学力経年調査における「社会の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。(R6 68.7%)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・あらゆる学習活動の中で、考える時間の確保やワークシートの工夫、話し合い活動の設定など自分の考えや思いを表現する力を身につけるための指導を工夫する。	
指標① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を47%以上にする。 A…50%以上 B…40%～50% C…40%未満	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・英語短時間学習の時間を通じて、楽しみながら外国語(英語)にふれることができるようにする。	
指標① 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 A…71%以上 B…65～70% C…65%未満	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・教員が師範授業や研修会、各自の文献研究等を通して社会科への教科理解を深める。 ・授業研究会を通して社会科学習における主体的・対話的で深い学びを構築する指導力を高める。	
指標① 学校アンケートにおける「生活科・社会科の学習は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。 A…69%以上 B…68～64% C…64%未満	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】
 取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】
 取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】
 取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】
 取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

大阪市立波除小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標」 ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く） R6:32.8% ② 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（1ヵ月の勤務時間超過45時間以下、年間360時間以下）を満たす教職員の割合を65%以上にする。R6:65.8% 「学校独自の目標」 ③ 「はぐくみネット」や学校協議会の仕組みを生かして、学校の美化や登下校の見守り、学習支援、学校行事の運営など、保護者や地域の人との協働による活動を推進する。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ・心の天気等の入力内容をもとに児童の実態把握・指導に生かす ・デジタルドリル(navima)を活用した自学自習を推進する。 ・デジタルコンテンツの活用による教材のペーパーレス化を図る。 ・デジタル教科書・教材を活用した授業の実施をする。	
指標① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(R6:32%) （ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く） A…55%以上 B…50～54% C…49%以下	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・働き方改革を学校全体として推進し、NO会議デー・NO残業デーを設定する。 ・会議の精選を行う。 ・ICT活用等による業務の効率化を図る。 ・スクールサポートスタッフに印刷業務などを振り分ける。	
指標① 1ヵ月の勤務時間超過45時間以下、年間360時間以下の教職員の割合を65%以上にする。 (R6前 67.5%) (R6後 65.8%) A…67%以上 B…65～66% C…64%以下	
取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 ・各学年で、年に1回以上ゲストティーチャーを招聘しての学習活動に取り組む。 ・学校行事で学期に1回以上地域の方と協働した活動を設定する。	
指標① 学校教育アンケート「波除小学校では、地域の方と学習する機会を設定している。」に肯定的に回答する割合を50%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
取組内容①	【基本的な方向 6	教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】
取組内容②	【基本的な方向 7	人材の確保・育成としなやかな組織づくり】
取組内容③	【基本的な方向 8	家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】
次年度への改善点		
取組内容①	【基本的な方向 6	教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】
取組内容②	【基本的な方向 7	人材の確保・育成としなやかな組織づくり】
取組内容③	【基本的な方向 8	家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】